



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場会社名 技研興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 9764 URL <http://www.gikenko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 温

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 会田 直樹

TEL 03-3398-8500

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,154	△1.3	△447	—	△455	—	△484	—
23年3月期第3四半期	6,233	△7.6	△284	—	△283	—	△354	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △503百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △359百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△29.54	—
23年3月期第3四半期	△21.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,630	4,716	54.6
23年3月期	8,883	5,253	59.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,716百万円 23年3月期 5,253百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※配当予想の修正については、本日(平成24年2月13日)公表いたしました「平成24年3月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,150	△0.5	70	—	50	—	15	—	0.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想の修正については、本日(平成24年2月13日)公表いたしました「平成24年3月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	16,640,000 株	23年3月期	16,640,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	252,904 株	23年3月期	249,088 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	16,387,096 株	23年3月期3Q	16,403,029 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績身通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は2ページ「1. 当四半期決算の定性的情報」の各項目をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8
(7) 追加情報 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による停滞期から脱し、復興へむけて回復のきざしがみられるものの、タイ国での洪水問題、欧州での金融危機問題、円高の長期化等が企業収益の足かせとなる等、不透明感が一層増した状況のまま推移いたしました。

建設関連業界においては、震災による設備の修復等もあり設備投資は下げ止まりがみられ、やや持ち直してきているとはいえ、公共投資は一部の緊急的な震災復興需要の他は依然として総じて低調であり、また、震災復興関連の補正予算の成立の遅れ等から総じて厳しい受注環境が続いております。さらには、工事事業資機材の価格の上昇や建設技能労働者の不足傾向による労務費の高騰等から、採算確保が懸念される状況となっております。

このような環境のなか、当企業集団は、事業分野毎に受注戦略を策定し効率的な受注活動を行った結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は8,648百万円（前年同期比16.9%増）となり、前年同期に比べ大幅な増加となりました。

売上高は一部のセグメントにおいて、期初の繰越工事が減少していたこと及び工事の進捗に遅れが見られたこと等から、第3四半期連結累計期間では好調な受注が売上に寄与するまでには至らず、6,154百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

利益面については、業務の効率化と聖域なき徹底的なコスト削減を推し進めたものの、季節的な要因もあり効果が具現化するまでの売上が確保できなかったこと等から、当第3四半期連結累計期間の営業損益は△447百万円の営業損失（前年同期は284百万円の営業損失）、経常損益は△455百万円の経常損失（前年同期は283百万円の経常損失）、四半期純損益は△484百万円の四半期純損失（前年同期は354百万円の四半期純損失）となり、前年同期に比べ、減収減益となりました。

当企業集団の前期繰越受注高、受注高、売上高、次期繰越受注高は次のとおりであります。

期間（年度）別	前期繰越受注高 （千円）	受注高 （千円）	売上高 （千円）	次期繰越高 （千円）
前第3四半期連結累計期間	3,232,978	7,400,363	6,233,077	4,490,265
当第3四半期連結累計期間	2,757,769	8,648,223	6,154,778	5,251,215

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の業績は以下のとおりであります。なお、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## (土木関連事業)

受注高は2,998百万円（前年同期比23.9%増）、売上高は2,206百万円（前年同期比13.4%増）、セグメント損益は92百万円の損失（前年同期は8百万円の損失）となりました。

## (建築関連事業)

受注高は3,628百万円（前年同期比42.4%増）、売上高は2,218百万円（前年同期比9.8%減）、セグメント損益は34百万円の損失（前年同期は1百万円の利益）となりました。

## (型枠貸与関連事業)

受注高は1,592百万円（前年同期比2.8%増）、売上高は1,387百万円（前年同期比2.8%減）、セグメント損益は145百万円の損失（前年同期は78百万円の損失）となりました。

## (ハウジング事業)

受注高は373百万円（前年同期比55.9%減）、売上高は288百万円（前年同期比21.0%減）、セグメント損益は5百万円の損失（前年同期は9百万円の損失）となりました。

## (不動産賃貸事業)

受注高は54百万円（前年同期比47.7%増）、売上高は53百万円（前年同期比53.7%増）、セグメント損益は27百万円の利益（前年同期比53.1%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末(平成23年12月31日)における総資産は、前連結会計年度末(平成23年3月31日)に比べ253百万円減少し8,630百万円となりました。減少した主な要因は、収益物件として取得した土地・建物等有形固定資産の増加があった一方、前連結会計年度末に計上された営業債権が回収されたことにより生じた資金の利用等により流動資産が減少したことによるものであります。

負債合計は、3,913百万円となり、前連結会計年度末に比べ284百万円増加しました。増加した主な要因は、収益物件等の取得や設備投資等に伴い新規借入や社債を発行したこと等による増加であります。

純資産は、当第3四半期連結累計期間の最終損益が484百万円の損失となったこと等により前連結会計年度末に比べ537百万円減少し4,716百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.5ポイント下落し54.6%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期連結業績予想につきましては、期初の予定を上回る受注量を確保しているものの、東日本大震災の復興需要に関連する第3次補正予算の成立が遅れたこと等から施工の大部分が来年度にずれ込むことが予想され、売上・利益とも当初の予想から下回る見込みであります。

平成23年5月13日の平成23年3月期決算短信で開示いたしました通期連結業績予想との差異は以下のとおりであります。

なお、平成24年3月期の連結業績予想及び個別業績予想に関しましては、本日(平成24年2月13日)開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」を併せてご覧下さい。

(通期の連結業績予想)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	10,900	170	130	90	5.49
今回発表予想(B)	10,150	70	50	15	0.92
増減額(B-A)	△750	△100	△80	△75	—
増減率(%)	△6.9	△58.8	△61.5	△83.3	—
前期実績 (平成23年3月期)	10,201	4	△8	△108	△6.63

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	831,289	1,209,728
受取手形・完成工事未収入金等	4,155,329	3,009,907
未成工事支出金	9,670	19,903
その他のたな卸資産	95,318	110,970
その他	96,859	131,990
貸倒引当金	△32,356	△24,793
流動資産合計	5,156,110	4,457,706
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,126,587	2,429,782
その他(純額)	1,273,269	1,474,423
有形固定資産合計	3,399,857	3,904,205
無形固定資産		
のれん	10,914	2,728
その他	18,463	18,546
無形固定資産合計	29,378	21,275
投資その他の資産		
投資有価証券	141,407	108,353
その他	236,847	201,455
貸倒引当金	△80,205	△62,993
投資その他の資産合計	298,048	246,815
固定資産合計	3,727,283	4,172,295
資産合計	8,883,393	8,630,002
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金等	1,628,268	1,218,468
短期借入金	995,937	935,321
未払法人税等	32,334	21,637
未成工事受入金	44,451	123,770
引当金	50,060	58,605
その他	173,301	368,523
流動負債合計	2,924,353	2,726,326
固定負債		
社債	105,000	427,400
長期借入金	395,544	537,622
退職給付引当金	90,657	92,283
その他	114,117	130,205
固定負債合計	705,318	1,187,511
負債合計	3,629,672	3,913,837

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120,000	1,120,000
資本剰余金	1,473,840	1,473,840
利益剰余金	2,669,687	2,152,890
自己株式	△30,631	△31,783
株主資本合計	5,232,897	4,714,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,823	1,217
その他の包括利益累計額合計	20,823	1,217
純資産合計	5,253,721	4,716,164
負債純資産合計	8,883,393	8,630,002

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,233,077	6,154,778
売上原価	5,629,951	5,713,971
売上総利益	603,126	440,806
販売費及び一般管理費	887,762	888,320
営業損失(△)	△284,636	△447,513
営業外収益		
受取利息	1,523	1,272
受取配当金	5,855	5,732
物品売却益	13,823	—
受取補償金	440	746
貸倒引当金戻入額	—	6,904
その他	5,730	7,012
営業外収益合計	27,373	21,666
営業外費用		
支払利息	17,058	21,588
支払手数料	5,747	5,452
その他	3,714	2,882
営業外費用合計	26,520	29,923
経常損失(△)	△283,783	△455,770
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,368	—
特別利益合計	1,368	—
特別損失		
固定資産除却損	1,591	4,498
投資有価証券評価損	25,424	—
損害賠償金	—	12,000
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	953	—
特別損失合計	27,969	16,498
税金等調整前四半期純損失(△)	△310,384	△472,269
法人税、住民税及び事業税	19,151	16,915
法人税等調整額	24,657	△5,168
法人税等合計	43,809	11,746
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△354,193	△484,015
四半期純損失(△)	△354,193	△484,015

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△354,193	△484,015
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△5,021	△19,606
その他の包括利益合計	△5,021	△19,606
四半期包括利益	△359,214	△503,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△359,214	△503,662

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	土木関連	建築関連	型枠貸与 関連	ハウジング	不動産賃貸	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への 売上高	1,794,818	2,460,633	1,577,343	365,395	34,887	—	6,233,077
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	4,930	—	1,341	△6,271	—
計	1,794,818	2,460,633	1,582,273	365,395	36,228	△6,271	6,233,077
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△23,318	1,487	△63,749	△9,657	18,007	△207,405	△284,636

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

(単位:千円)

	土木関連	建築関連	型枠貸与 関連	ハウジング	不動産賃貸	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への 売上高	2,206,336	2,218,721	1,387,429	288,677	53,613	—	6,154,778
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	380	—	2,052	△2,432	—
計	2,206,336	2,218,721	1,387,809	288,677	55,665	△2,432	6,154,778
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△92,443	△34,250	△145,453	△5,519	27,562	△197,409	△447,513

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## (7) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第3四半期連結累計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。